

## 2023.10.15.聖書預言アップデート

なぜイスラエル？ なぜ今？

JD ファラグ牧師

一緒に頭を下げ祈りましょう。主よ、あなたの恵みがなければ、私たちはどうするというのでしょうか。主よ、あなたが祝福下さっているこの時間、この場所、この教会をあなたに感謝します。またあなたの御言葉でのこの時間、私たちに理解を与えて下さい。聖霊よ、今朝の「聖書預言・アップデート」でどうか私たちを導いて下さい。主よ、私たちに見極める目を与えて下さい。この時間を、この場所をあなたに感謝します。主よ改めて、ありがとうございます。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も、見て下さり大変嬉しいですオンラインで参加されている方、ご覧になって祝福されると信じます。始める前に、「マウイ島ミッション支援」の簡潔な最新情報を伝えます。

始める前に、「マウイ島ミッション支援」の簡潔な最新情報を伝えます。今日、さらにもお願いしたいのが、最後まで聞いて下さるなら、何よりもまず、ラハイナの人々のために祈り続けてください。マウイ島で起きたことは、日を追うごと常にありがちで、忘れ去られていくように見えるからです。でも何が悲しいかと言うと、マウイの人々は、まだ苦しんでいます。ある意味、起こった直後よりも今の方がさらに悪いです。その理由は、起こったことの現実と激しさが、2カ月ほど経った今、定着し始めているからです。それに加えて、ラハイナの人々は文字通りすべてを失い絶望し、その人たちの多くは、島に留まるかどうかの深刻な人生の決断を迫られています。多数の人たちは既に島を去りました。私たちは、まだたくさんおられる最も必要な人々への財政的支援のため、長期的に取り組んでいることをご理解ください。ラハイナのカルバリーチャペル・ウエスト・サイドのスティーブ・サントス牧師に寄り添い私たちは、これまでも、これからも間違いなく支援を続けていきます。私たちは教会として、この想像を絶する悲しみと苦しみ、マウイの兄弟姉妹を助けるためできる限りのことをしています。私たちは、島に住む人々に寄り添い、共に悲しみ、涙を流します。私たちはオアフ島にいるけれど、このことは私たちに大きな影響を与えました。パウロが語った通り、体の一部が痛むと、体全体がそれを感じ、痛みまよね？ (I コリント 12:26 参照)

今日のアップデートは、イスラエルに関する預言的展開の意義をお話しします。しかし、この嘆願をしないと大失態になるのは、具体的に、失われた人々のために祈り、手を差し伸べる重要性への嘆願です。それこそが、正に失われたものです。先週、述べましたが、改めて、最後まで聞いて下さるなら、急速に進むプロパガンダ報道サイクルは、、、理由があつてそう言いますが、今の急速に進むプロパガンダ報道サイクル、その中で失われた人々が全て見失われていってしまいます。具体的にどういう意味か説明します。それは死者数の数字に関係します。死者数の報道。それらはただの数字じゃありません。彼らは、イエスがその為に死なれた人々です。母親、父親、息子、娘、兄弟、姉妹、叔母、叔父のため、多くの人々が深く苦しんでいます。問題は、、、皆さんお付き合いください。マウイでも、イスラエルでも、ユダヤ人でもアラブ人でも、どこであろうと、その中の誰であろうと、これは大宣教命令ですよ。私たちは、まだ時間がある間に出来るだけ早く、イエスを多くの人々に、多くの人々をイエスに導かねばなりません。残された時間は少なく、時は迫っているからです。最後に、私自身も含めて言いたいのは、私たち全員が持っている罪の性質の中には、今世界で起こっていることをただ見てしまうという性質があります。こんにち、世界で起きていることは、こんにちが世の終わりだからですよ。こんにちとは、今日、そういう

意味です。ええ、そうなり得ます。(JD 天を見上げる)

でも私たちは皆、このような言わば性質を有していて、こんにち世界で起きていることとなると、私たちはユダヤ人 対 いわゆるパレスチナ人、あるいは、対 ハマスという構図で見るからです。

先週の日曜日、かなり大きな地震が3つありましたね。そして死者数。ある地震が起きて、これはその時に、死者数は増え続けていると報道する。「聖書預言・アップデート」にはもうすぐ入りますからね。皆さん今見ているように、そんな風に私を見ないでください。その表情はわかっています。でも、先週の日曜日に起きた3つの地震の中のひとつの地震での死者が、報道によると1000人を超え、さらに増えていることをご存知ですか？「おお、単なる数字の言及に過ぎません。」ちょっと待って下さい。そう早まらずに。この聖域、私たちが神の恵みによって祝福され、特権を与えられているこの美しい聖域は、300人収容できます。会衆席は300です。それを視野に入れながら、その地震を考え、1000人となると、この教会会衆席数の3倍が亡くなったのです。彼らは人々です。あの地震で亡くなった人々の中に、イエスを知っていた人はいたのか？ 私自身を含めてと言う時、それは牧師としての私への戒めです。なぜなら、特に預言の教師が、“私たち 対 彼ら”の構図にすると大きなミスを犯すと思うからです。“彼らを殺せ”、“彼らを潰せ”と。ここで置いておく方がいいですね。聖霊が、特にこの点に関して私たちの心を、私の心をもう一度調べて下さいますように。これがその意味です。ダビデが言われていたのは、彼には、神の御心に適う心がありました。言い換えれば、神の御心を傷つけるものが、彼の心を傷つけました。私たちには、起きていることすべてに関し、神の御心を持っているのか？ 私は、気をつけなきゃいけないのは、その話に入るからです。私はこんな感じです。「このことは、このためです。」そう、「真相を突き止めます！」そう詳しく調べて、さらに調査して、私はその文書を手に入れ、、、それから、、、止めて下さい。これらは人々です。彼らにはイエスが必要です。私自身アラブ人として、、、ここで置いておくと言いましたけど、そう言わなきゃよかったんですが、きつと言及する必要があるのです。いわゆるパレスチナ人と呼ばれるアラブ人は、こんにちハマスと呼ぶレッテルを貼られました。彼らはアラブ人で、惑わされています。しかし、クリスチャンやいやしくも聖書の教師たちが、彼らを動物と呼んでいます。ええ、彼らがしていることは言葉に出来ない事で、徹頭徹尾、邪悪です。疑いなく悪魔的です。でも彼らは、イエスがそのために死んで下さったアラブ人なのです。

「おお～牧師さん、あなたはイスラエルの側だと思っていました。」ええ、私がイスラエルの側でないと思うなら、あなたは私をご存知ない。しかし、神は私を知っておられ、私の心を知っておられます。私がイスラエルを愛するのは、イスラエルの神を愛するからです。私はユダヤ人を愛しています。そしてアラブの人々を愛しています。彼らは動物じゃありません。魂です。因みに、あのラッパが鳴って、携挙されると、きっと、みんな衝撃を受けるでしょう。「どういう意味ですか？」ええ、これらの動物”ハマス”と呼ばれる幾人か、彼らがイエス・キリストを信じるようにならないと、どうしてわかるのですか？

彼らは私たちと天に行くかもしれません。どうですか？ OK。ここで置いておきます。OK。祈りで締めくくるべきでしょうかね。そこまで悪くはないですね。日曜日の朝は、2つの礼拝があって、これは第一礼拝で毎週「聖書預言・アップデート」、第二礼拝は、「聖書の学び」、神の御言葉の節ごとの学びです。今日御心なら、「第一ヨハネの手紙5章」を学び終えます。実際、ヨハネの手紙全書簡を、御心なら、主の御心なら、私たちがまだここに居るなら、来週「第二ヨハネの手紙」に入ります。「第一ヨハネの手紙」の次が第二です。大変意味深ですけどね。今日の箇所は、「第一ヨハネの手紙5章」18節から21節で、私たちが学ぶのは、新生したクリスチャンとして、私たちの人生の全てがイエスであるとき、私たちの人

生は真にどのようなものになるか。なぜなら、結局のところ、イエスは単なる（特定の）命ではなく、私たちの命なのです。それをハワイ時間11時15分からライブ配信します。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、念のための注意喚起として、ウェブサイト [JDFarag.org](http://JDFarag.org) に直接行かれ、中断なし、検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧になるのをお勧めします。これらのプラットフォームでの配信は、本編前だけだからです。OK。私が今日達成したいのは、以下の問いに答えることです。第一に「なぜイスラエルなのか？」第二に「なぜ今なのか？」

聖書預言に初めて触れる方は、まず、歓迎します。参加して下さい嬉しです。もしあなたが聖書預言の初心者なら、私の祈りは、これが人生を変える事です。もしあなたが聖書預言の初心者でないなら、私の祈りは、これが人生を変えている事です。可愛い子ぶろうとしていません。そうではなく、私も含め私たち全員が、「事の裏」の「理由」を理解することが大切です。

「なぜイスラエルなのか？」「なぜ今なのか？」「なぜ今、イスラエルでこのようなことが起きているのか？」なぜ今？ なぜイスラエルなのか？ しかしまずは、お祈りをお願いします。既に、私がずっとその一人だと言われて育ったいわゆるパレスチナ人に特化したアップデートに取り組んでいるからです。分かった事は、パレスチナ人など、こんにち存在しないこと。それで、私はそれに取り組んで来て、それについて考えて来て、もちろん、それについて祈って来ています。で、皆さんにお祈りを願う理由は、このことが預言的、深い預言的意義のため、神が私に、このことを話すよう示されていると信じるからです。彼らは誰なのか？ いわゆるパレスチナ人とは誰なのか？ パレスチナの名前の由来はどこから来たのか？ なぜパレスチナ人と呼ばれるのか？ しかし、なぜ彼らはこの土地に不法な権利を主張するのか？ 今日、今から見ていきますが、あの土地は神のもので、神がイスラエルに与えられました。これらは不法な主張です。なぜ2023年の今、私たちはこの事態を目の当たりにしているのか？ 神は御言葉（聖書）の中で、神にしかできないご方法で、私たちに告げられただけでなく、これが正に起こり、それがなぜ起こるのかも予告されました。ですから、今日のところは、時間の都合上、イスラエルで起きていることに関連する主要な問題だけに焦点を当て、イスラエルに何が起きているか話します。主要な、と言う意味は、クリスチャンは、患難前携挙の寸前で、世は、その後の7年間の患難時代の寸前の、主要な預言のパズルのピースは全て展開しています。それが何と言うか、大きく、詰まっています、私には文章を短く構成する才能がありませんので、多いのは分かっていますが、これが真実です。これが結論、最大の課題、言わば焦点なのが、新生したクリスチャンとして私たちは、患難時代前携挙の寸前で、世は7年の患難時代開始の寸前です。私たちは今、今、今、そこにいます。きっと今こそ、この発言をするのに適切な時なのが、改めて私はアラブ人で、レバノン、ベイルートで生まれました。私は記録により述べたいのは、あの土地は神のもので、神だけのもので、神がイスラエルに、イスラエルだけに与えられた土地です。以上。その続きはありません。以上です。

では、これは「創世記」に始まる時の始めから、サタン自身が「盗み、殺し、滅ぼすこと」を求めてきた理由の、少なくとも部分的説明になります。「どういう意味ですか？」そうサタンは、カインとアベルに始まり、神の土地を盗み、神の民を殺し、滅ぼそうとしています。私たちは聖書の約三分の一にあたる聖書預言が故、これを知っています。聖書預言が私たちに語り、説明するのは、正にこれが起こることで、なぜ起こるのかです。これらの聖書預言は、イスラエルを、具体的にエルサレムを指し示します。

エルサレムは、、、どうか聞いて下さい。最後の焦点、つまり、私たちが終わりに来ていることを知る理由です。さらに詳しく説明します。聖書預言が私たちに語るのは、「最後に全ては、エルサレムに帰結する。

全ては、エルサレムで幕を閉じる。」

なぜか？ 神は、文字通りエルサレムにご自分の御名を置かれたからです。「民数記 6 章」のアロンの祝祷と愛称する箇所皆さん、注目くださいますか？ 私たちはこの箇所をよく知っていますが、問題は、24 節から始めて 26 節で止めてしまっていることで、私たちはこの箇所をよく知っていますが、問題は、24 節から始めて 26 節で止めてしまっていることで、恐らく一番重要なのは 27 節だと言わせて頂きます。27 節を含んで、この箇所を朗読してよろしいですか？

一民数記 6：24-

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

一民数記 6：25-

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

一民数記 6：26-

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。」

これが「アロンの祝祷」でしょ。お、因みに少し裏話をすると、私たちの理解に密接に関係しますけど、神はモーセに、イスラエルの民が幕屋や神殿に集まるたび、この祝福を受けられるようアロンに命じるよう命じられました。ですから、あなたは 1 日に 2 回教会に行けば、1 日に 2 回祝福を受けられます。あなたはこの祝福の言葉があなたに注がれるのを耳にするのです。私たちは西洋文化ではそれを理解できません。私たちはそれを退け、読み過ぎ理解しません。それは悲劇的です。理由は、神が、ご自分の民に祝福を与えたいと望んでおられるのを知らせたいときの、民への宣言は、最初からすぐ「主があなたを祝福される」だからです。「わたしの民が幕屋に来るたびに、わたしが彼らを祝福したいと思っていることを知ってほしい。」「わたしは御顔を彼らに照らしたい、彼らに恵みを与えたい。わたしは御顔を彼らに向けたい。」この意味分かりますか？「わたしは彼らに微笑みかけたい。」神は、微笑みの神です。私たちは神の御顔に微笑みをもたらすのです。そのような光景を見たことはありますか？ クリスチャンの人生で、愛する天の御父をこう描くのは悲しいことです。

「この神は～～、天と地と～～～（強調効果追加）海と、その中の全てを創造された～～」違います。神は私たちのパパです。神は私を愛しておられます。神は私に微笑んでおられます。父が、私の地上の父が、私に微笑みかけてくれた時、いつも銀歯が見えました。私は彼を喜ばせようと思って、そう、銀歯が見たかったから。でも父は、あまり私に微笑んでくれませんでした。しかし、天の御父は私に微笑みかけてくださる。「わたしはわたしの民に、平安を与えたいのだと知ってほしい。」そう、それから 27 節、

一民数記 6：27-

アロンとその子らが、わたしの名をイスラエルの子らの上に置くなら、わたしが彼らを祝福する。」

お付き合いください。中東の文化では、こんにちも、あなたが誰かに宣言できる最高の栄誉は、祝福するため神の御名を彼らに宣言する事。幼い頃、母がアラビア語で言いました。「イサーム・アッラー・アレーク」アッラーが神の称号でないと分かった時、アッラーは、イスラム教の偽りの神の名で、ムハンマドは、偽りの預言者で、偽りの神の偽りの宗教です。アッラーは称号ではなく、でも母は、無邪気に神の名を私に告げました。「イサーム・アッラー」神があなたに注がれますように、と。あなたが誰かを祝福したいと思う最高の祝福は、その人に神の名を宣言することです。ですから私は、変えました。「イサーム・イシュア・アレーク」ヘブライ語 "イェシュア" に。全ての名に勝るイエスの御名です。

この御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないのです。（使徒 4:12 参照）

イエスの御名をあなたに宣言します。「イサーム・イシュア・アレク」「それがわたしの子どもたちを祝福する方法です。わたしの名を彼らに宣言したいのです。彼らにわたしの名を置きたいのです。」そうご主人方、奥さんと結婚するとどうしますか？ 奥さんにあなたの名前を置くでしょ。妻は私を決してまだ許してくれません。ファラグだから。マジ？ 妻の旧姓知ってますか？ アイルランド語 - リン。O を省きました。オーリンでした。リンですよ。それで私がやって来て、私の名前を彼女に置きました。「ファラグ」ええ、私は彼女に言い続けています。

「黙示録」で告げられているように、天国では新しい名を与えられるから、(黙示録 2:17 参照) そんなに長く待つ必要はないよ。君はまた新しい名前になるんだから。イエスの御名が私たちの上にあるから、私たちの花婿が新しい名前をくださる。私は待ちきれません。自分の名前が欲しいから。私も新しい名前がいいから。私は自分の名前が好きではなかったのです。それはまた別の機会の別の題材で。御名。「わたしは名を、わたしの性質をわたしの子どもたちに、わたしの所有者名を置く。イスラエルの子どもたちにわたしの名をつけたいだけでなく、同時に、イスラエルの永遠の首都エルサレムにわたしの名を置く。」「第二歴代誌 6 章 6 節」の前半。

#### —II 歴代誌 6:6a—

ただ、エルサレムを選んでそこにわたしの名を置き、

「第二歴代誌 12 章 13 節」の後半。

#### —II 歴代誌 12:13b—

レハブアム王は...エルサレムで十七年間、王であった。...

「主がご自分の名を置くために

イスラエルの全部族の中から選ばれた都」

#### —II 歴代誌 12:13b—

レハブアム王は...エルサレムで十七年間、王であった。...

「主がご自分の名を置くためにイスラエルの全部族の中から選ばれた都」

おお、因みに補足すると、「イェル・シャローム」は、アラビア語で「ウルシャリーム」は、「イェル・シャローム」へブル語で「J」は発音しません。「シャローム」はわかりますね？「平安」です。「イェル」は、平和で統治される平和の街。冗談でしょ？ 世界中の都市の中で唯一「イェル・シャローム」と呼ばれる。その都市に、神の名がある。主は、イスラエルの全部族の中からエルサレムを選びました。なぜか？ ご自分の名を置くために。「第二歴代誌 33 章 7 節」の前半。

#### —II 歴代誌 33:7b—

そしてわたしがイスラエルの全部族の中から選んだエルサレムに、わたしの名を”とこしえに”置く。

新しいエルサレムにはまだ神の名があります。「第二列王記 21 章 4 節」の後半。

#### —II 列王記 21:4b—

「エルサレムにわたしの名を置く」

OK。では質問です。神の名前とは何ですか？ 神は、単なる称号でしかないことはわかりますね？ でも、神の名前とは？ 私たちは知っています。主が神であり、あなたのような神は他にありません。いと高き神よ。(I 列王記 8:23/詩篇 113:5))

でも、その名前は？ モーセみたいですよ。誰が私を遣わしていると言うべきですか？」(出エジプト 3:13 参照)

「『わたしはある』 だと言いなさい。」「いえ、誰と言えれば良いのでしょうか？」

「いや、わたしは『わたしはある』という者である。」(出エジプト 3:14)

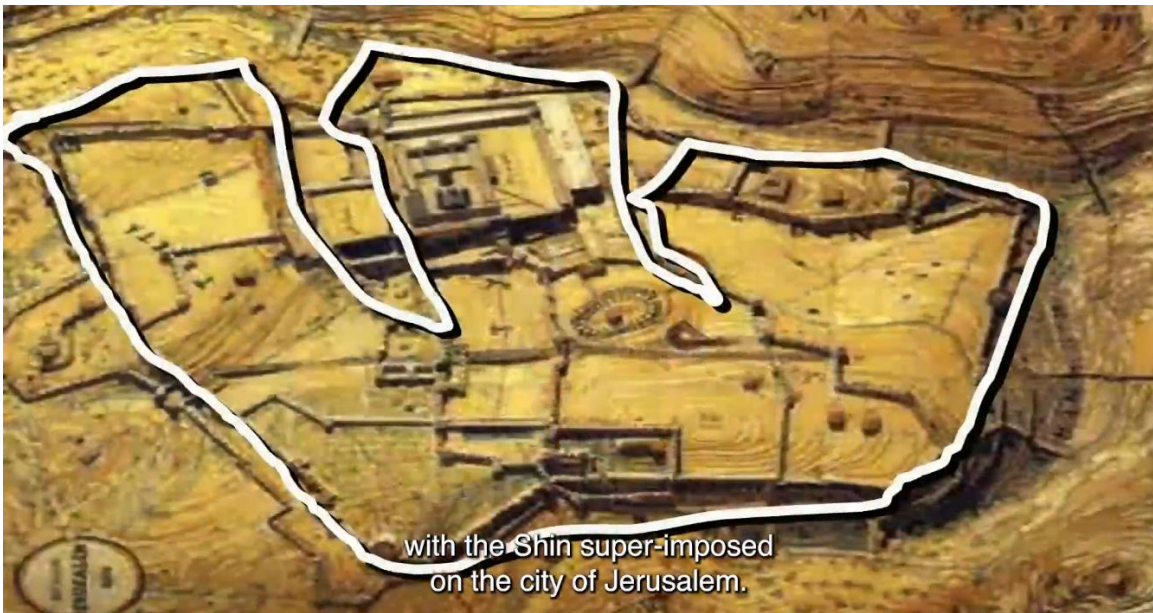
「『わたしはある』があなたを遣わした。」「待って下さい。『わたしはある』?」「そう、『わたしはある』だ。」「『わたしはある』偉大な『わたしはある』でも、ここが興味深い所で、聖書の中で最も古い書とされる「ヨブ記」を遡り、「最初に言及された原理」として(聖書研究で)知られるものを使って、私たちは実際に神の名前が分かります。一緒に「ヨブ記」を章ごと、節ごとに学んで、生き延び、そのことを伝えるため生きた人。何という書でしょうか。私たちはこのことを話しました。ヨブは、現代のヨルダン、ペトラに実際に住んでいたと信じられています。大富豪で、実際、ヨブは、家父長制時代に生きたと考えられていて、アブラハム、イサク、ヤコブよりも前に生きていたという意味です。これは改めて、聖書の中で神の名が最初に言及されたのはいつかという原則です。ですから、ヨブが出発点なのです。だから「ヨブ記」を見ると、最初に「ヨブ記」によって記された神の名の最初の言及があります。それは、、、言いますよ。

エル・シャダイ (Names of God Bible/神の御名聖書) (NOG)

エル・シャダイです。アダム・クラークは、次のように書いています。

ー引用ー

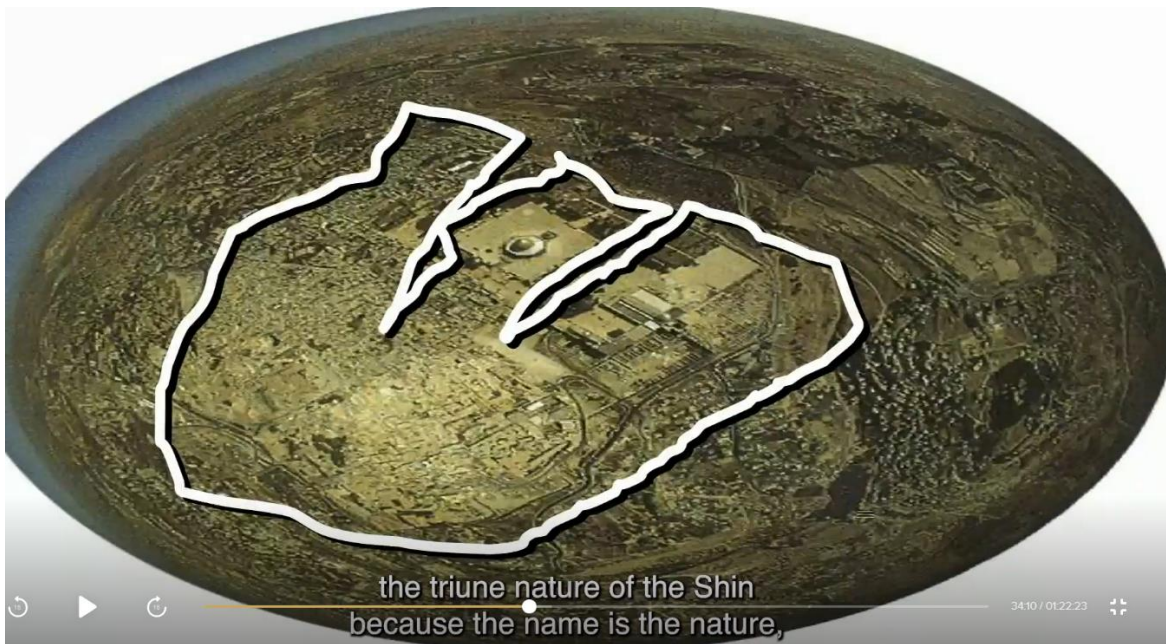
「エル・シャダイとは、『I am/わたしはある』:わたしは神であるエル・シャダイからすべて満ち足り、流れ注がれる。『I am/わたしはある』は、祝福を注ぐ神で、祝福を絶えず豊かに与えるエル・シャダイ。」では、ヘブル語の「Shin/シン」に入ります。画面の通りです。一緒にイスラエルに行った方は、ホテルのドアの柱に小さなものがついていて、ユダヤ人は入る前にキスして触りますね。それが「Shin/シン」です。正統派ユダヤ教徒に見られることもある、文字通りフィラクテリー(聖句箱)が額にあるのは、儀式ではありません。心の板に刻むため神の御言葉を額に書いています。彼らは文字通り、額に神の御言葉を、神の御名を書きます。し過ぎですか? きっと必要なかったかな。情報量多すぎ ですね。でもそれが「Shin/シン」です。「Shin/シン」はヘブル語で、こんにちに至るまで、ユダヤ人にとって「神の名、エル・シャダイ」の略称です。「Shin/シン」は、神の御名、エル・シャダイの略称です。それが「Shin/シン」です。ではもしも、神の御名エル・シャダイ「Shin/シン」が、文字通り、正に神がそうすると仰った通りエルサレムにあると言ったらどうでしょうかええ、私がそう言ったらどう言いますか? だって、そう言ったからね。では皆さんにお見せしましょう。準備はできていますか? 分かりました。以下はその画像です。実は何年も前にこれをしました。だから優しくしてくださいね。私は手で、マウスを使ってしました。それは当時としては古い技術でしたから。「SHIN/シン」を聖書のエルサレム旧市街の城壁の輪郭に重ね合わせます。この木彫りの写真から始めます。エルサレムの街にシンを重ね合わせます。



いくつか留意ください。まず、W のように見えますね。本質は三位一体です。神の御名です。次は航空写真で、「SHIN/シン」を重ね合わせたものです。



更新すべきですね。もっといいものができるかもしれません。わかった！ 私の代わりに、確かに私よりはうまくやれる誰かにやってもらえばいいんだね。  
次は別の航空写真です。「SHIN/シン」の三位一体の本質をもう一度指摘したいと思います。



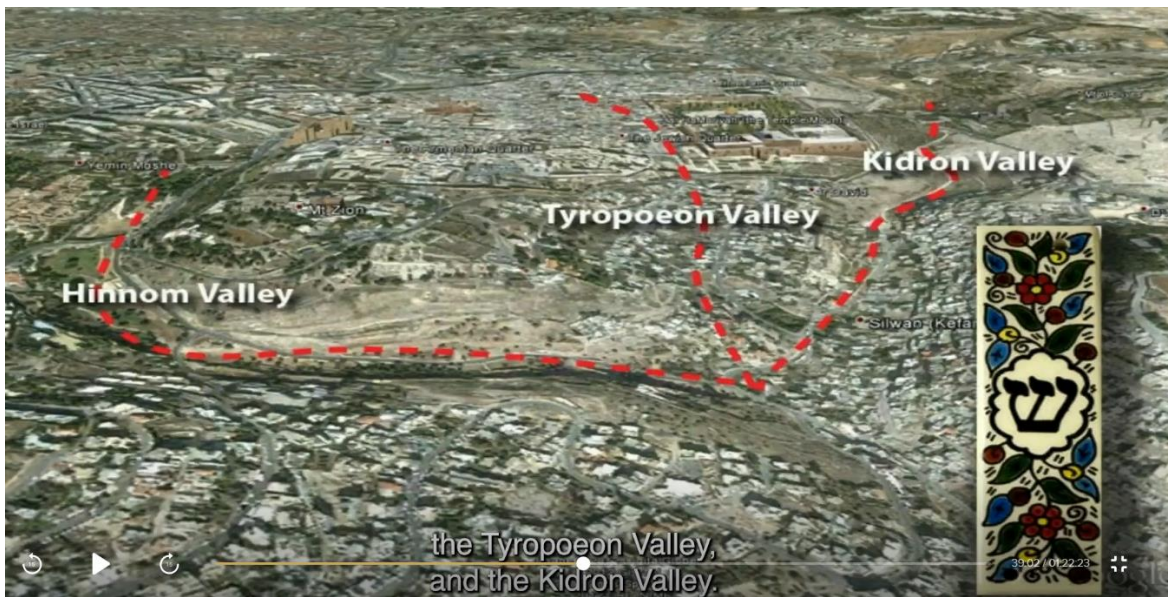
名は性質を表します。神の御名は神のご本質です。神は、三位一体です。神は、三位一体、父なる神、子なる神、聖霊（御霊）なる神。興味深くないですか？ 神殿の丘の位置は、二つ目の部分です。何という偶然でしょう。偶然ではありません。子なる神イエスは、三位一体の第二位格です。

ですから、アブラハムはイサクを、モリヤの山、神殿の丘に連れて行ったのです。（創世記 22:2 参照）それが正に、世の救い主が人類の罪のために死ぬために生まれる、その日が来る予型の伏線としての地点です。イエスは、正にこの場所で、神が御名を置かれた都のこの場所に、捧げられました。イスラエルのエルサレムの神殿の丘です。ニューヨークではありません。失礼。皆さんがついてきているか確認しただけです。

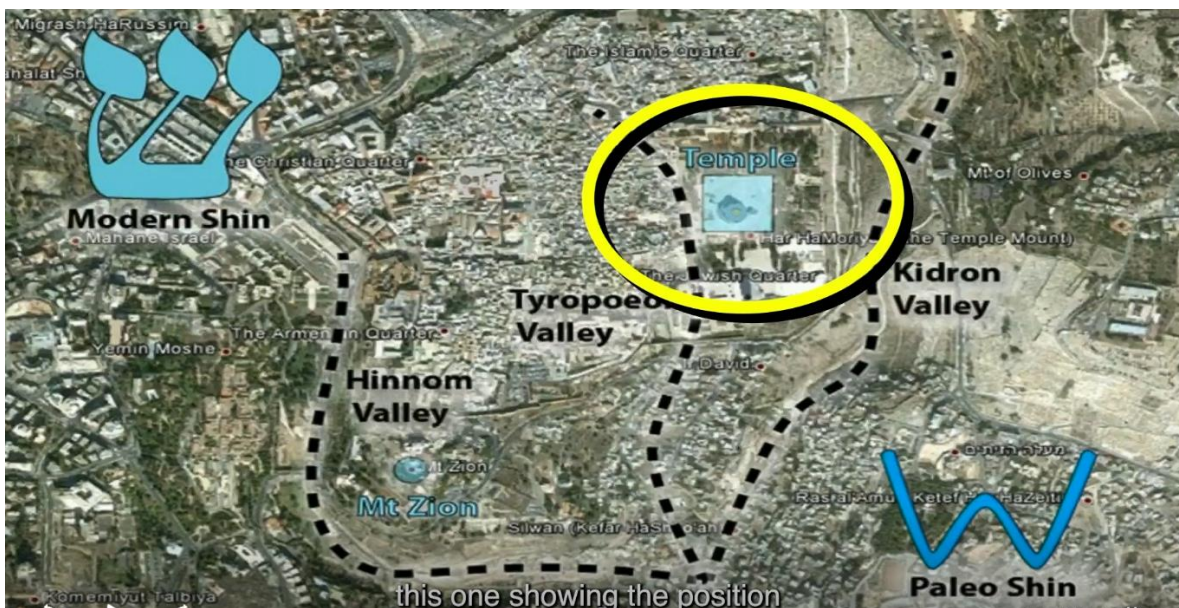
「OK、牧師さん。なぜこれを指摘するのですか？」理由は、この土地が神のもので、所有者である神がこの土地の正当な所有者として、この土地に所有者としての名前を置かれたことは、愚か者でも誤ることができないほど、明らかにはずです。神はご自分の土地で好きなことをお出来になります。神は何をされたいのか？ おお、ご自分の民、アラブ人ではなく、ユダヤ人にそれをお与えになりたい。アラブ人はたくさんの土地を得ましたよ。最近、地図をご覧くださいになりましたか？ ちなみに、うんと縮小してくださいよ。よろしければ、皆さんの時間を節約しましょうか。縮小すると、広大なアラブの土地。イスラエルはどこ？ ああ、もっと拡大しなきゃいけません。実際、この小さなちっちゃな切れ端を見るには585%に拡大せねばなりません。でもそれは、実際の約束の地のごく一部ですよ。そう、私たちの為に、約束の地の権利と境界線が、不動産取引記録として旧約聖書に記され提供されているからです。ご存知でしたか？ その約束の地には、私の父の生まれ故郷のエジプトの一部やシリア、私の生まれ故郷のレバノンも含まれます。つまり、、、もちろん、私の記憶力は低下していますから、正確な面積は忘れてしまいましたけど、あれは神の土地で、イスラエルにお与えになりました。イスラエル人が、神から与えられた土地を最も多く所有したのは、ダビデ王の治世下でした。私の記憶が間違っていなければ、こんな感じだったかもしれません。いや、言うのは止めておきます。メールやソーシャルメディアで、このバカなどと非難されるだけだから。脱線しましたね。私は学んでいるし、少なくともそういう意味では教えやすいでしょ？ なので、私は苦勞して学びました。それを証明する傷跡もあります。言わない、推測は禁物。ここで止めてお



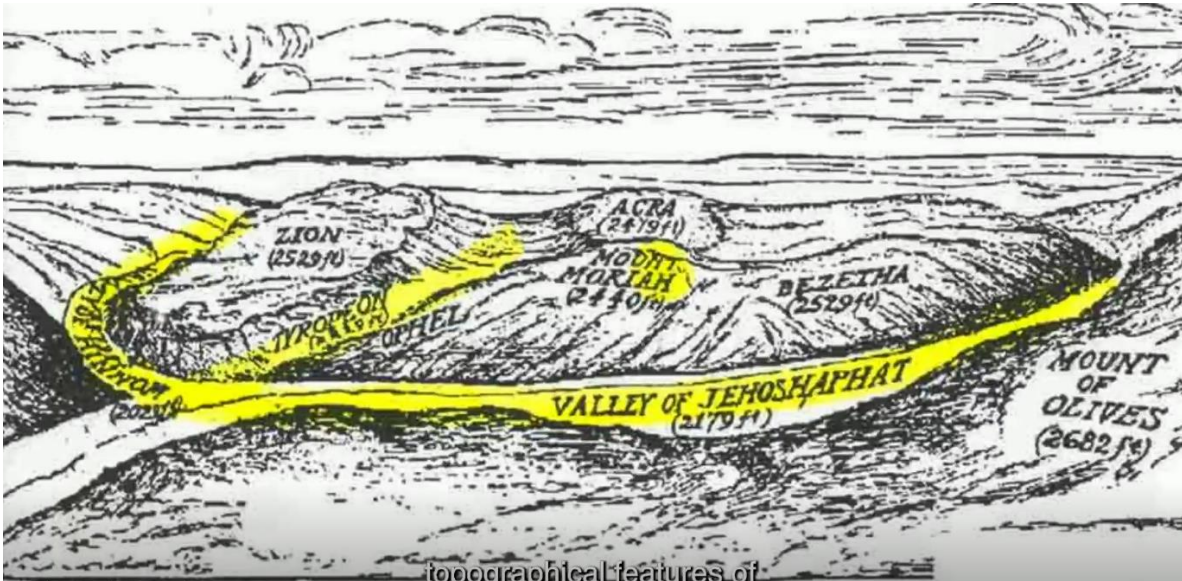
きます。そこで置いておきます。子なる神イエスは、適切にも、神殿があったこの第二の位置におられます。今は岩のドームがあります。イスラム教徒がああ場所に岩のドームを建てるなんて、興味深いと思いませんか？ 頼みますよ。サタンは、聖典と聖書の地理を誰が知りうるよりも、誰が知るだろうよりもよく知っています。彼はそこが狙い目だと知っています。ある意味、ここからがさらに面白くなります。エルサレムの街には神の御名があるだけではなく、エルサレム周辺に3つの谷があります。3つの谷とは、ヒンノムの谷、ティロポエオンの谷、キドロンの谷です。再度、画面右下の部分に注目してください。きっとスタッフが出してくれます。



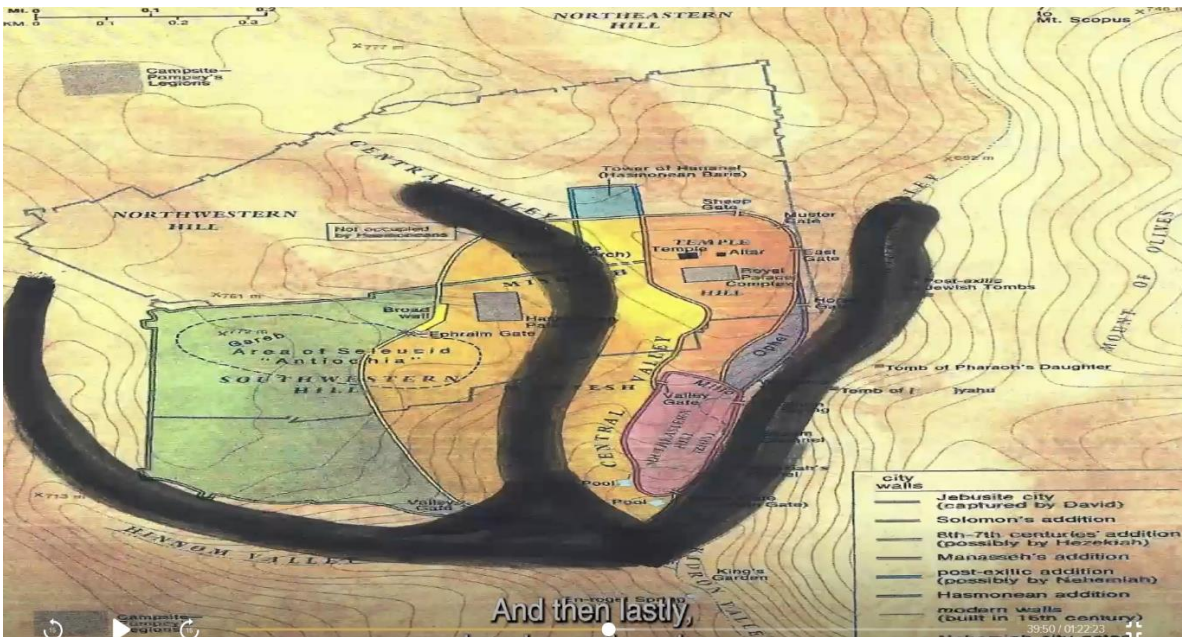
あれがイスラエルで、ドアの柱に見られます。あれが「Shin/シン」神の御名です。また、もう一つ別の角度から見ると、黄色い丸で囲んで位置を示している所は、正に第二の場所、神殿の丘があります。三位一体の第二位格の神の型として、イエスは完璧に、そして敢えて言えば預言的に位置づけられました。



次は、エルサレムの地形と3つの谷を示す画家のスケッチです。



そして最後に、別の角度です。



エルサレムの3つの谷に神の御名「Shin/シン」の輝きがあるのが明確に分かります。エルサレム市だけでなく、エルサレムを囲む溪谷に、です。「牧師さん、なぜこんなことをするんですか？」理由は、このことは、少なくとも部分的に、ある意味神のみに属するエルサレム分割に関する預言が聖書に記されている理由のひとつを、説明するからです。だからこそ、あなたの牧師として、私があなたの牧師なら、深い特権ですが、あなたが私がこれを言うのにうんざりしても、私は決して言うことをやめないのは、この時点までに起こった全ての出来事は、エルサレムの分離、分割、切り刻み、エルサレムの境界線の移動、エルサレムの分割が唯一の目的です。エルサレム分割です。「いや～まさか。」エルサレムは、ユダヤ人にイスラエルに、首都として与えられています。「ええ、でも～トランプは、全ての人にそう言っているじゃないですか。」彼は、いわゆるパレスチナ人にも同じことを教えたからです。「エルサレムをあなたの首都にできる。」いや、いや、いや、いや、違います。エルサレムは彼らのもの

ではありません。あなたは、ユダヤ人とパレスチナ人が平和で安全に共存する、いわゆる二国家解決で分割しようとしている。(中東発音で強調中) それについては、ゼカリヤに聞いた方がいいです。あなたは神に聞くことになります。神は、ゼカリヤを通して、それについて語られましたから。どんな言葉を使えばいいのかわからないので使いません。預言を読むのはどうです? 「ゼカリヤ書 12 章 1 節から 3 節」、

—ゼカリヤ 12:1—

**宣告。イスラエルについての主のことば。天を張り、地の基を定め、人の霊をそのうちに造られた方、主の告げられたことば。**

—ゼカリヤ 12:2—

**「見よ。わたしはエルサレムを、その周りのあらゆる民をよろめかせる杯とする。...**

全世界に酔わせる執着とする。彼らはエルサレムに酔いしれる。彼らはこのよろめかせる杯から飲み、この 1 つの都市、わたしが名をつけたこの 1 つの都市に、彼らはそれに酔いしれる。

**...エルサレムが包囲される時、ユダについてもそうなる。**

3 節、注意して聞いて下さい。「その日、」その日がこんにちです。「その日」は、こんにちです。「なぜそんな大胆な主張をするのですか?」ゼカリヤが、次のように記しているからです。

—ゼカリヤ 12:3—

**その日、わたしはエルサレムを、どの民にとっても重い石とする。...**

重い石、厄介な石、とてもとても重い境界石。これはグーグル・マップ以前の話です。次はきつともっと良い例えを考えますね。「どうして境界線がわかるのですか?」境界線があります。彼らは石で境界線を示しました。それが土地境界線。それが石での境界線です。

「待ちなさい。あなたはわたしの都市、わたしが所有者名を置いたエルサレムの境界、境界石を動かしたいのですか? わたしの権利証があり、わたしの民にそれを与えたのですよ。あなたはそれを切り分けたいのですか? あ。。それを考え直した方がいい。ゼカリヤがこう続けているからです。」

**...すべてそれを担ぐ者は、(譲り、分割し、切り分ける者は) 身にひどい傷を受ける。...**

お許し下さい。私の聖化された、、、単語が出てこないの、使わないことにします。きつと使うべきじゃないのでしょうか。きつと聖霊です。「それは言うてはいけません。その言葉を使つてはいけません。」でも聖化された方法で、言いたいのは、まるで神がこう仰るようです。「あなたが、わたしの街を切り刻むなら、わたしはあなたを切り刻む。」どうですか? 再度、聖化された方法です。大変緩い言い換えです。これをさせて下さいね。これをさせて下さい。ゼカリヤが語っているのは正にそのことだからです。神は預言者ゼカリヤを通して仰いました。「あなたは国境を移動させ、わたしの土地を分割し、わたしの土地を切り刻みたいなら、わたしがあなたを切り刻む。」

今の最後ので、止めた方がいいね。だって、、、OK。それを見てもいいですか? マズいです? 私たちは今、そのような状況を見つあり、ちなみに、携挙前です。彼らは、しようとしていること、2500 年以上も前、告げられたことから逃げられないからです。正にその日、私たちが今いる終わりの日、その日がこんにちで、これが彼らがしようとしていることです。彼らは何をするつもりなのか? 彼らは二国家解決で、エルサレムを分割しようとしています。彼らはそれを切り分け、切り刻もうとしています。

「わたしはあなたを切り刻む。改めて、言っておきます。ネタバレ注意。」それから彼はこう言います。

**...地のすべての国々は、...**

すべての国々です。全ては全てです。この(米国) 国家を含めて。

...地のすべての国々は、それに向かって集まって来る。

ふ～では「ヨエル書3章2節」、聞いて下さい。再度出てきます。

ーヨエル 3:2ー

わたしはすべての国々を集め、彼らをヨシャファテの谷に連れ下り、わたしの民、わたしのゆずりイスラエルのために、そこで彼らをさばく。...

わたしの民：パレスチナ人（ひっかけ問題）おお、頼みますよ、皆さん。そうすることになっているのでは？ 今日私はそんなにマズいです？ わたしの民と言うのは、「わたしの民、イスラエル。」神のご統治のイスラエルは、別名：ヤコブです。覚えていますか？

「あなたの名は、もうヤコブとは呼ばれない。ヤコブ：出し抜く者、かかとを掴む者。ここで止めますけど、今からあなたの名は、イスラエルだ。神に統治されるイスラエル。（創世記 35:10 参照）

わたしはあなたの名を変えます。わたしはあなたの性質を変えます。わたしの民、イスラエルです。」なぜこれが重要なのか？「ヤコブの苦難の時」と呼ばれる時期があるからです。ヤコブとは誰か？ イスラエルです。それはダニエルの第70週で、今からすぐお話ししますが、もう2、3時間で、皆さんここから出してあげますからね。第二礼拝がありますから、ご参加ください。たぶん分かりませんが、いや、もう締めくくります。もうそろそろ。その希望はあります。心を強くして。教会の苦難の時ではありません。第70週、最後の7年は、第70週を示します。それが「ヤコブ（イスラエル）の苦難の時」です。患難時代の目的は、ユダヤ人国家の救いのためです。

私はいつも聞きたいのは、、、実は聞きたくありませんけど、患難時代前携挙の健全な教理を信じる私たちを非難し、攻撃し、嘲笑しようとする人々に尋ねることに、私は大きな喜びを感じます。私はいつも彼らに尋ねたいのは、イエス・キリストの教会、イエス・キリストの花嫁が、患難時代のどの時点でも入って経験する目的は何ですか？ その目的は何ですか？ それについては、誰からも答えがありません。まだ答えが来たことはありません。彼らは答えようとしますよ。でも試行錯誤の末、薄っぺらい答えを導き出します。薄っぺらいは、優しい単語です。私は牧師で、とても敬虔なので、発言には細心の注意を払っています。いや、そうじゃありません。もっとそうなる必要があります。でも、彼らはそれに答えようとします。それに対して私は答えます。「（聖書に）こう書いてある。」

「こう書いてある。」（マタイ 4:4 参照）

聖書が最終決定権、神の御言葉です。神の御言葉です。7年間の患難時代として知られる人類史上最後の7年の期間は、ユダヤ民族の救いのためです。私たちは既に救われています。しかも、イエスの花嫁としてイエスのそばにいます。なぜイエスが、私たち花嫁を、結婚式に向けてボコボコにしたいですか？妻と私は、今年で結婚35周年です。二年間交際（求愛）していました。若い人たちには、求愛の意味が何か分からないでしょう。私たちは求愛し、二年間求愛しました。結婚して、35年です。文字通り、、前に共有したのは分かっていますが、この時点で適切かもしれません。私は文字通り、印をつけながら日数を数えていました。昔、壁に本物のカレンダーがあった頃の話です。デジタルじゃなくてね。でも私は文字通り、実際に毎日結婚式の日まで、Xをつけて数えました。イエスがそれをなさることをご存知ですか？ どういう意味ですか？ おお、主の食卓、聖餐式に共に与るたび、イエスは2回以上仰います。**（ルカ 22）**

「待ちきれない。わたしはカレンダーに印をつけています。この最後の晩餐で過越の祭りを祝う事がわたしの王国で、わたしの花嫁としてわたしのそばにいるあなたたちと共に、成就するその日まで、わたしはその日を指折り数えています。」

何を意味しているか分かりますね？「子羊の婚宴」です。それだけでも。皆さん、天国には食事があるのですよ。また脱線しました。「わたしの民イスラエル」なぜ、彼ら（すべての国々）をヨシャファテの谷に連れ下りあなたのゆずり、イスラエルの民のために、そこで彼らをさばくのか？理由は、  
...彼らはわたしの民を国々の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分配したのだ。ほ～！！ またしてもすみませんがお許し下さい。でもその連れ下る時、ヨシャファテの谷で座って見ていいですか？ ちょっと見てみたいからです。マズいです？ 分かりました。じゃあ、私のために祈ってください。これは決してすべてを網羅しているわけではありません。しかし繰り返しますが、それが、なぜイスラエルか？なぜエルサレムか？ という疑問に対する答えの一部で、人類の歴史全体で、なぜこれなのか？なぜ今なのか？という疑問につながります。OK。なぜイスラエルなのかわかります。あの土地は神のもので、イスラエルに与えられたから。ええ、それが私への答えになっています。どうもありがとうございます。おそらくあなたは、その疑問に答えるのにかかった時間より、もっと短い時間で答えられたはずです。しかし「なぜ今なのか？」の疑問は？ なぜ今なのか？ なぜ、今起こっているのか？ はい、今日の残りの時間を使って、それに答えたいと思います。すべての預言的ピースがひとつになることを願ってそうします。そのため、先に進むので、フェイスブックとユーチューブでのライブ配信をここで終了します。

#### 一本編一

この3年半の間、あるオンライン・メンバーから洞察に満ちたメールを受け取る機会に恵まれてきました。お名前は言いません。私は以前のアップデートで彼のメールを引用しましたが、今回は、彼の2023年5月のアップデートタイトル：「徐々に、そして突如」に係わる、彼が2～3週間前、私に送ってくれたメールを共有したいと思います。長年に渡る「聖書預言・アップデート」で取り上げてきたことのほぼすべてが簡潔にまとめられているからです。私たちは長年してきましたが、特に、ここ3年半の。留意すべきなのは、これは6カ月前の5月にこの彼のウェブサイトに掲載されたもので、今イスラエルで起きていることよりもずっと前です。今何が起きているのか？さらに重要なのは、なぜ今それが起きているのか？について、彼の卓越した説明を引用したいと思います。

#### 一引用一

「私たちの主張は、患難時代へのアプローチは、現在、軍事的、地政学的、経済的、通貨的に世界を迅速かつ根本的に”リセット”するため、非常に劇的な出来事が展開される「突然」の段階に到達するまで、舞台上の小道具があまり知られずに所定の位置へと移動させられ、徐々に設定されている事。私たちは、突然の局面に非常に近づいていると信じる。第一テサロニケの人への手紙5章3節の使徒パウロの警告に一致する。」先週話しましたね。

「人々が”平和と安全！”と言うとき、突然の滅びが彼らを襲い、妊婦の陣痛のように、彼らは逃れられない。」

#### 一引用継続一

「クリスチャンにとって幸いなことに、パウロは4-11節でこう続けている。『しかし、兄弟たち。』

(彼らと私たちの区別をしてください。)『しかし、兄弟たち。あなたがたは暗闇の中にいないので、その日が盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。』(I テサロニケ 5:4)

『あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもなのです。私たちは夜の者、闇の者ではありません。』(I テサロニケ 5:5)

『ですから、ほかの者たちのように眠っていないで、目を覚まし、身を慎んでいきましょう。』(I テサロニケ 5:6)

『眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うのです。』(I テサロニケ 5:7)

『しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛の胸当てを着け、救いの望みとかぶとをかぶり、身を慎んでいきましょう。』(I テサロニケ 5:8)

『神は、私たちが御怒りを受けるようにではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。』(I テサロニケ 5:9)

『主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きようになるためです。』(I テサロニケ 5:10)

『ですからあなたがたは、現に行っているとおりに、互いに励まし合い、互いを高め合いなさい。』

(I テサロニケ 5:11)

これは全て「携挙」の文脈ですよ。この彼は続けて仰います。

ー引用継続ー

「信者として、私たちが嵐の雲が立ち昇り、暗闇に包まれるのを見るとき、私たちの希望は、その前の節 (I テサロニケ 4:13-18) に文脈上描写されている、イエスの教会携挙にある。

最初のアップデートでは、コロナの足並み揃えた世界的対応は、健康危機よりもむしろ金融危機に対処するため利用されたと結論づけた。そのアップデートの直後、世界経済フォーラム (WEF) の創設者クラウス・シュワブは、著書『コロナ：グレート・リセット』を発表した。驚くべきことではないが、この本が提唱する構想は、聖書聖典に記されている終末論のシステムと不気味なほどよく似ている。基本的に、ある政治の実体が、多国籍大企業のネットワークが採用する政策を通じ、国民を世界的に支配する。この経済構造にデジタル身分証明書、中央銀行デジタル通貨 (CBDC)、社会的信用点数システムを組み合わせ、彼らが全ての人間と金融取引を追跡できるシステムを構築しているのは明らかだ。このシステムは最終的に、反キリストを崇拜することを拒否する個人を経済から遮断することを可能にする獣の印の技術を必要とする。WEF のグレート・リセットのスローガンは、(この一件で、私は本当に疲れています。きっと皆さんもでしょう。) ”より良いものを取り戻す” だ。”2030 年、あなたは何も持たず幸せになる！”と彼らは主張する。明白なのは、彼らがすべてを所有するということだ。(彼らはそうするからです。) 前回は、遺伝的性質を持ち、ヒトの DNA を変化させる可能性のある、いわゆるワクチンの聖書的意味合いについて警告した。(キーワード：可能性のある。現行のワクチンは、人間の DNA にダメージを与えます。しかし患難時代のは、DNA を変化させます。)

スウェーデンの研究で、ファイザー社のコロナ mRNA ワクチンがヒト肝細胞逆転写を起こすと結論づけられた。逆転写は DNA を改変する方法である。加えて、ワクチンは世界中で数百万人に危害を与えたり、死亡させたりしているが、メディアは一切報道していない。私たちは歴史上最も広範な心理作戦を経験した。世界中の人々の多くが、ワクチンはウイルスのために作られたと信じ込んだが、実際はその逆が真実だった。世界保健機関 (WHO) は現在、来年 2024 年健康危機が発生した場合、国家主権に取って代わる可能性を秘めるパンデミック条約批准を目指している。(私たちは話しましたね。)

この条約が批准されれば、ワクチンの義務化やパスポートの発行など、今後の WHO の世界保健対応が義務化される可能性がある。クラウス・シュワブのグレート・リセットの信条のひとつに、第 4 次産業革

命 (4IR) がある。人間にとって、第 4 次産業革命は生物学、デジタル技術、遺伝子工学の組み合わせを想定し、引用：人間であることの意味を変える。」

これは、クラウド・シュワブの弟子、ユヴァル・ハラリ氏で、イスラエルにいて、イスラエルから、イスラエルで、その道をリードしています。それは最後に説明します。

ー引用継続ー

「この教理は、トランスヒューマニズムという哲学的原理によって推進されている。私たちの強い主張は、7 年の患難時代の舞台を整えるため、徐々に、そして突然収束する (皆さんこれをよく考えて下さい。) 2 つの並行する預言的出来事があるということだ。ひとつは、すでに議論され、現在進行中の世界金融・通貨危機である。」

知っておいてほしいのです。この彼を引用していますが、さっと言います。どうか聞いて下さい。これは非常に重要です。

政府が国民に対して行ってきたことはすべて、その核心にあるのは金であり、諸悪の根源、金への愛です。(I テモテ 6:10 参照)

人類に加えられた悪は、この「邪悪な金銭への愛」を伴います。すべてはお金のため。中東では、オイル/金。それがこの彼の話の向かう先です。その続きを引用します。

ー引用継続ー

「もうひとつは、イスラエルが関与する中東地域の核紛争である。(これは今年の 5 月の文章です) イランがイスラエルの敵を武装させ続ける一方で、世界はイランの核武装阻止を諦めている。繰り返しになるが、預言のパズルのピースは、先を見据える私たちの視点からは完全には明らかではないが、振り返れば、預言的出来事は正確に成就する。で、私たちの視点から先を見るとこうなる。ある時点で、イランの核施設に対するイスラエルと潜在的同盟国による先制攻撃 (エレミヤ 49:35-39)、それに続く、詩篇 83 篇にある全国境を接する国々によるイスラエルへの攻撃が予想される。

(彼はまた、詩篇 83 篇は預言だという見解も持っています。)

その結果、イスラエルは核で猛反撃する (イザヤ書 17 章/ダマスカス、エレミヤ書 49 章/シリア)、教会携挙が、極めて近づいている (1 テサロニケ 4:13-18、1 コリント 15:50-58)、

因みに、以前共有しましたが、先週か一週間あまりの時点のイスラエルの動向を見て、私は今ますます確信しているのは、この全ての突然の出来事は携挙と同時起こる事。言い換えれば、このすべてが勃発すると私たちは上に上がります。ええ、マジですよ。一拍手ー

ー引用継続ー

(携挙に) ...続いて、トルコ、イラン、リビア、エチオピア、おそらくスーダンを含むロシア主導の圧倒的な攻撃がイスラエルに襲いかかり (エゼキエル 38,39 章)、

その結果、神による壊滅的な超自然的防衛がイスラエルにもたらされる。」24 時間以内のスパンだと信じる人もいます。エゼキエル書 38 章が成就するのが。

ー引用継続ー

「想像してみてください。この一連の出来事が、破綻しつつある世界金融システムにどのような結果をもたらすか、世界経済が不況に沈む中、中東からの石油の流入は途絶えている。エネルギー価格の高騰は、世界的銀行危機と闘うための中央銀行の QE (量的緩和) 金融政策によるインフレを誇張している。この紛争は、NATO とロシア、あるいは中国、台湾、アメリカが関わる、より大きな紛争の影に隠れるかも

しれない。その結果、ヨハネの黙示録 6:5-6 にある通り、食料価格が高騰し、世界人口の大半が貧困に陥る可能性が高い。」

パンを一斤作る材料を買うだけで丸一日分の賃金が必要で、世界の人口の大多数が困窮するという預言です。

ー引用継続ー

「この劇的で突然の出来事の収束は、7年の患難時代の始まりを告げる中東和平（[ダニエル書 9:27](#)）の舞台となる。補足すると、少し調べればわかることだが、世界の食糧生産は、人口を抑制するため環境問題（オランダの農民の抗議行動を参照）を利用して狙われている。」

彼は最後にこう書いています。

ー引用ー

「ヘンリー・キッシンジャーの言葉だが、（前に引用しましたね。）

"食料を支配すれば国民を支配し、石油を支配すれば国家を支配し、貨幣を支配すれば世界を支配する。これがゲームプランだ。彼らは、最終的に反キリストによって人類が支配されるシステムを導入するため、食糧、エネルギー、貨幣を支配することに従事しているのだ。」だから、現在の経済システムは意図的に崩壊させられているのです。だから、彼らは世界中の食料供給を焼却処分しているのです。農作物に、格納庫に放火し、家畜を殺しています。なぜか？ 彼らは食糧供給を支配したいからです。私たちが虫を食べて幸せになれるように。締めくくる前に、この兄弟がとても雄弁に、そして簡潔に書いてくれたものへ、「神殿の丘」に関することを補足したいと思います。実にこれが、イスラエルに今起きていることが、イスラエルで今起きている理由でしょう。単純化しすぎるリスクは分かっていますが、今起きていることは、最終的に7年の患難時代に成就する預言的出来事を、順を追って誘発する性質があります。すなわち、7年の（平和）契約を固め、神殿の丘に第三神殿の建設、そして3年半の節目で、反キリストが座り忌むべき荒廃をもたらす。ダニエル書 9 章 27 節とパウロが第二テサロニケ 2 章 4 節で語る通りの。では結論です。ご忍耐感謝します。

「なぜイスラエルなのか？」

という問いに対する答えは、神の土地で、神の民に神の御名が与えられているからです。

「なぜ今なのか？」の問いに対しての答えは、イスラエルは私たちの時計、エルサレムは分針、神殿の丘は神の預言時計の秒針だからです。

「なぜ今なのか？」は、それが今だからです。

同じことを別の方法で言います。「なぜ今、これが起きているのか？」

今が、神の預言時計のそれが起こる、その時刻だからです。

もう一度言ってみます。「なぜ今なのか？」今がその時だからです。「なぜ今がその時なのか？」今がその時刻だからです。秒針が、どんどん進んでいるからです。秒針：神殿の丘

OK。「全てはエルサレムに帰結し、全てはエルサレムで幕を閉じる。」と述べて始めた方法で締めくくります。神が文字通り、御名をエルサレムに置かれたからです。これが終わり方で、これが終わりだと分かります。皆さんに質問していいですか？ このことは、私たちの中に、これまで経験したことののないような、そしてこれからも経験することのないような切迫感を生み出すべきではないですか？ まだ時間があるうちに、イエスを人々に、人々をイエスのもとへ届けねばならない切迫感。人々は疑問を持っているからです。人々は、今や、そうでなければ質問しなかったような質問していて、ニュースを見ている人、



ニュースを見ないでください。彼らは起きていることを見聞きしていて、それは想像を絶する恐ろしいもので、彼らはこう質問し始めています。「聖書には何か書かれていませんか？」聞いて下さり嬉しいです。私は自分の中にある希望という答えを誰にでも言う準備ができているから、教えましょう。実際、ここでニュースを見る必要はありません。次に何が起こるのか、ここ（聖書）にあります。「次に何が起こるのですか？」ええ、これが、神の御言葉が次に起こると告げることです。おお、あなたは疑っていますね。構いません。大丈夫です。あなたは信じる必要はありません。構いません。過去に遡って、実績を確認しましょう。もう1分いいですか？ 実際には1分以上かかりそうですけど。全ての預言は、100%の正確さで、すでに成就しました。99.99.....%ではありません。全ての預言が成就しただけでなく、紛れもなく神だという方法で成就しました。神だけがお出来になられるからです。約2500年前に、まさに終わりの時に何が起こるか預言できるのは神だけです。そして周りを見渡すと、そうなると語られた通りが起きています。イエスは仰いました。

「それが起こるのを見始めたら、あなたがたは顔を上げ、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」(ルカ 21:28)

「わたしはあなた方に話しました。そうなると伝えましたよ。何が起こるか話しましたもん。」「これが今、起こっているんです。」「はい、そう話しました。」「それが起こっています。」「そうなると話したでしょ。」神はそんな風に仰いませぬけどね。実のところ、少しワクワクしています。これが何を意味するか知っているからです。イエスが、私たちを迎えに来られ、御父の家で私たちのために用意してくださった、イエスがおられる場所へ、共にいるため私たちを連れて行ってくださる意味です。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったのでしょうか。(ヨハネ 14:2-3 参照)

当時のユダヤ人の結婚式の慣習通りそれが婚姻部屋です。花婿が来るその日その時は、誰も知りません。

(マタイ 24:36)

そのため、結婚式の招待状は本当に問題です。日にち：分からない。時間：分からない。ただ準備していなさい。

イエスは、盗人が夜来るように来られます。(I テサロニケ 5:2 参照)

どうか、、時間超過は分かっていますが、これも言わせてください。これがさせてほしい最後です。花婿が来られる際、花婿の付き人はラッパを鳴らします。花婿がやって来られ、花嫁は既に準備ができています。花婿の付き人は、花嫁を地面から持ち上げて連れていきます。それがイエスのなさることです。あのラッパの響きと共に、花婿が来られます。私たちは、地上から引き上げられ、たちまち一瞬の内に、イエスと共にいるため、連れ去られます。またそれだけではなく、キリストにあって亡くなった人たちキリストにあって亡くなった愛する人たちが、多くの愛する大切な兄弟姉妹が主と共にいるため家に帰り、その追悼式を行ってきました。もう何年も前のことですが、今でもそのことを深く悲しんでいます。彼らが先に新しい体になって、

「キリストにある死者が先によみがえり」(I テサロニケ 4:16)

「それから、生き残っている私たちが、(彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。)」(I テサロニケ 4:17)

それが良い知らせ・福音/ゴスペルです。一拍手一

イエスは(地上に)来られ、十字架に掛けられ、葬られ、3日目によみがえられ、そして、良い知らせは、イエスはまもなく戻って来られる事。それが「福音」です。イエス・キリストにある良い知らせは、よみ

がえられた、で終わりません。想像してみてください。「わたしはあなたのために死んで、よみがえって、3日目によみがえりました。じゃあね。」「ちょっと待って下さい。あなたは戻って来られるのですか？」はい。「わたしは戻ってきます。」それが良い知らせです。「わたしは戻ってきて、わたしと共にいるためにあなたがたを世から連れ出します。」「救いのABC」は、救いの簡単な説明です。神が、あなたにイエスを、イエスにある救いの良い知らせ・福音を誰かに分かち合う特権を与えられた際に、あなたを備えるためのツールです。ABCのAから始まります。

A：自分が神に背いた罪びとだと、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

自分が罪びとだとへりくだらないと、救世主に興味を持ちません。

ローマ人への手紙3章10節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

誰もが正しくありません。あなたは自分が良い人間だと思かもしれませんが、（神の御目から）十分良くはありません。ローマ人への手紙3章23節がその理由です。

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは誰しも、生まれながら罪びと（的外れ）なのです。神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。そう、それが良い知らせです。私たちは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分から出たことではなく、神の賜物です。

行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。（エペソ 2：8-9）

そう、あなたがそれを獲得するためできることは何もありません。事実、あなたは（罪で）死を獲得しています。

罪の報酬は死です。（ローマ 6:23a）

あなたの報酬は、死に値します。「私は自分にふさわしいものを得たい。」いいえ、得られません。（罪は）死に値するからです。あなたは死刑を宣告されています。それが悪い知らせです。でも、良い知らせがあります。

「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

次にB、大変中心です。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

一ヨハネ 3：16一

神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ローマ人への手紙10章9-10節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

最後にC、C：主の御名を Call/呼び求める。

再度、ローマ人への手紙10章9-10節、

「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

最後に、ローマ人への手紙10章13節、

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

その理由は、心にあるものが、口から出て来ます。（マタイ 15:18 参照）

ですから、あなたが心でイエスが主だと信じると、口から「イエスが主だ」と出て告白し、あなたは主の御名を呼び求めます。

OK。では今日の「しかし、神は。」の証です。皆さんご忍耐感謝します。たぶん信じてもらえないでしょうけど、実はアップデートを短くしようと思いました。で、結局長くなってしまったのです。お伝えしておきます。今日の「しかし、神は。」の証は、ユダヤ人クリスチャン、キリストにある姉妹ロニ・ラヴァンさんから。私は彼女が最後に仰ったことから始めたいと思います。「しかし、神は。全てを握っておられます。」彼女のメールを紹介します。「親愛なるファラグ牧師へ。イスラエルの知人たちに送ったメールを紹介したいと思います。今日、あなたがネタニアフ首相について言ったことは（先週ですね）、私に衝撃を与え、私を方向転換させました。2020年2月、あなたの預言・アップデートを見始めるまで、私は、メディアによって脇道に逸れ、盲目になっていたのと同様、コロナについても脇道に逸れ、盲目でした。メールに書く内容には、今回のアップデートであなたが仰ったこともあれば、以前のアップデートであなたが仰ったこともあります。一瞬にして、すべてが私の中で纏まりました。私はこのことを友人たちに説明しましたが、その必要はなかったはずです。彼らもエルサレムからあなたを見ているから。

（シャローム！ 私たちはあなたを愛していますよ。）神が、あなたとあなたの家族に祝福を与え、あなたを守ってくださいますように。愛を込めて。ロニより。」

では彼女が、イスラエルの友人たちに送っているメールのひとつを紹介します。

「しばらく前、あなたにEメールを送り、Bibi（ネタニアフ）がイスラエルの殆どの人々の病歴とDNA情報を最高入札者に売った話を聞いた後、あなたは返事をくれたよね。ファラグ牧師の”預言・アップデート”も、エルサレムとイスラエルにいるあなたたちも、ネタニアフが実際にこのようなことをした事実を確認しているでしょ。私はショックだったことを覚えている。昨日の朝6時、ネタニアフがイスラエルがいかに戦争状態にあるかを話しているのを聞いたよ。私はメディアにどれだけ振り回され、目を奪われていたことか。その時、電球が点いたのよ。どの政府であれ、第一の関心事は国民の福祉ではない。彼らの第一の関心事は政府の存続だ。強力なリーダーの下で人々を団結させなければ、危機を作り出せばいいのだから。今日の午後、ファラグ牧師の預言・アップデートでは基本的にこう言っていた。”忘れないでください。ネタニアフは、イスラエル国民をファイザーの実験台にした張本人。”医療記録とDNA情報を高値で売ったのはネタニアフだ。イスラエルをリードしたいと言ったのはネタニアフだ。彼はイスラエルをトランスヒューマニズムへの道へ先導することを望んでいる。（ご存知でしたか？ トランスヒューマニズムです。）今、ハマスが、世界で最も安全な国境を通過し、同時にネタニアフが政治問題を抱える？（このパターンが分かりますか？）人々は、1000人のテロリストがガザの国境を通過してイスラエルに侵入したことを理解できない。トラック、車、オートバイ、ハンドグライダーを備えた大勢が国境を突破する唯一の方法は、誰かがすべての警備装置をオフラインにし、実質的にドアを開けることだろう。メディアは、その演出があまりに強力なので、私は脇道に逸れ、真実が見えなくなっていた。しかし、神は。全てを握っておられます。」

カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。改めて、皆さんのご忍耐に感謝します。でも皆さん、今日話したことは、言う必要があったと思います。アーメンと言ってくれないので、祈りましょう。－(笑)－

言うべきことは言いましたが、もっと短時間で言えたはずですね。

天のお父様。ありがとうございます。起こる前に何が起こるのか、私たちに告げて下さり感謝します。そ

れが起こり始めると、未信者は信じ、信者は顔を上げ、私たちの贖いが近づいているのを知ります。聖書預言をあなたに感謝します。終わりの時、何が起こるかを事前に大変詳細に教えて下さっています。主よ、私たちの周りの世を見て、これが終わりです。これが終わりです。おお、主よ、私たち自身が、何よりもまず、落ち着いて準備できておきたいです。でも他の人々、特に愛する人たちも、落ち着いて準備できますように。どうか主よ、私たちができる限り早く、できる限り多くの人々をあなたのもとに導く聖なる大胆さ、聖なる強さの緊急性を与えて下さい。できるだけ多くの人たちをあなたのところに導けますように。今、ラッパが鳴る前の最後の時刻です。最後に主よ、おお、イエスよ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7